

茶事雜錄

二

79

699

2



門 7 9  
流  
卷



二七 蓮華為孤峯法師茶ノ賀

八十八賀

一 振廻 呼吸 小餅飯 酒肴 惣多山月  
 一 糞古初のあし  
 一 糞茶のあし  
 一 糞茶のあし  
 一 糞茶のあし  
 一 糞茶のあし

茶のあし 茶入 香合 水筒

頤之信 茶聖之信 花入信本  
是才福と一々 素ノ一字百叙是才面  
素とス右手素ノ還ノ一才叔お素ノ景也  
才家内ノ才出入ノ中ノ中ノ中ノ一  
才出久諸候方素之云々云々云々百叙  
云々

独立

吸也 少許取 茶聖之信 茶聖 鏡也  
九者 清之吸也 河者也 濃茶ノ時

一多聖ノ茶諸候方白出茶ノ方ハ百香ノ才  
多付内白不入

花月樓 情詩

一床 中款河像 左春ノ花月  
氣後成白才  
右秋ノ花月

筆者 中葉川笔 左右洞春笔

床城也ハ素ノ掛鏡  
四月ノ素也柳條  
七月ノ

二重棚 上十年、差也  
下青磁、唐時觀

揮出筆、七、八 盒 唐物  
青貝

香燭、字、今、ヤキ

一口切、字、 鏡、字、 簪、字、

鶴、一字、大字、 一、字、 臨、字、 意、字、 筆、字、

座、大、 石

棚 上青磁、  
下揮出、  
景、  
字、

香炉、東方、  
人形、  
石、

會、白、  
松、  
字、  
石、

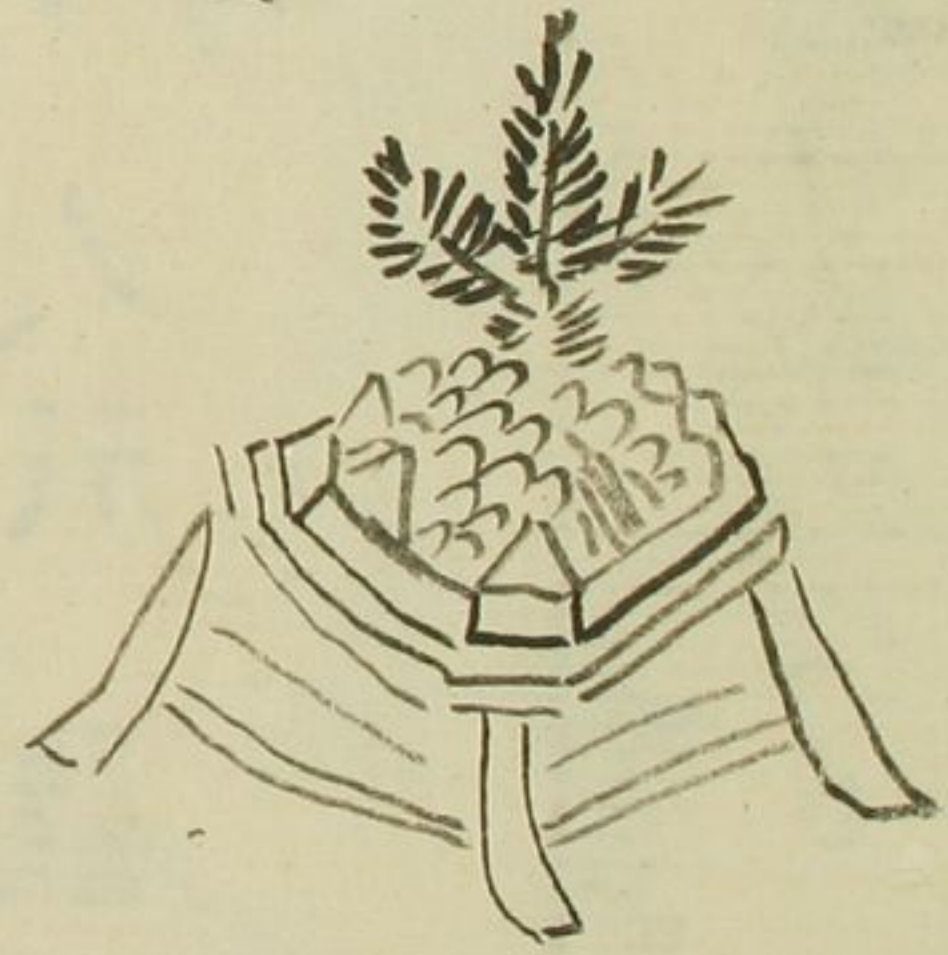
胎、一、  
字、  
石、  
字、

字、  
石、  
字、

菓子

① 菓子

菓子入 縁子 組重



惣菓子入縁子  
如付色紙  
角紙入  
中松ノ系花  
志ニ立ル

蓮華菴 茶之湯 道具

文化二年春

掛物 大燈圓師 一ツ物

番合

古徳附籠

茶

ハカクヤ

花

唐物調ノ唐物

水

曲物

茶入

菓子

袋 菓子

茶

菓子

茶

貴ノ茶作 臨何似生

菓子茶入 菓子

唐張ノ菓子  
不ノ菓子  
菓子

同茶籠 新萩

花月標之 高茶

一 黒雲 高子 洞ノ一色 湯付 干介 茶棚

け 夏好ムウ 梨子

折ノ四季 干介 柳地ニ 啓リ 凡片先茶

凡 四段折 光琳筆 人如 竹ノ花ノ色紙

介ニ 字投折 賀ノ和歌 燈ノ紙 籠冊ニ

ハノニ 出ル

同 麦ニ 入り

一 職ノ 元庵筆 一 紙如 藤竹虎 嘯

一 公金 小丸 室 雜作

時代ノ 角宗 哲竹ノ 挿紙

一 香ノ 青徳舟 曲所 挿紙

人形ノ 人ノ



一 水指 沼ノ 帆 沼ノ 帆

一 茶ノ 利休 判 竹 末ノ 茶 樂子 竹 如ノ 歌 長ノ 茶 意ル

茶盤

井戸

名物出

茶巾

如心赤

沼宮傍

け沼沢り

茶碗

菊絵 玄上ヶ福高

几帳

鳳凰 凡呂 上ノ物

鳳凰 入りて金  
入ル物ナリ

同冬口切ヨリ

撒物 石帆 画賛

連丁

九年面羽云達塵土埃  
一朝玉望得頭麻子

徑山比丘石帆讚〇〇

茶

九谷 赤次郎作

品也、ナリ見事ナリ

香合 燦迹

蓮花

山井 け平 哀ナリ

瓶入

二重切

諸山の歌 大出兼ト 圓テアリ  
ソイハケアリ

水指 南蠻 繩筆

茶入 茶一

茶盤

緋屋黒

長次郎作

茶物

利休作

筒 随流

茶碗

ふく

白み

宵月之初

一 向 あきしうこ  
あきしうこ  
せしう

一 系 たいん  
うも

一 乃 たう  
ね

くまー

一 汁 うま  
の

一 室 かま  
の

一 丸 うま  
の

うまー

此の流

川上

川上



月七

料理方門

親柄定

大和屋安之助  
乃利屋郭太郎

月八日

料理方門

中澤嘉之助  
大口宗平  
乃利長兵衛  
中村宗忠

月九日

小澤西之介  
出平之吉

料理方門

月十五日

高木源兵衛  
若原次郎

料理方門

月十九日

里村昌徳  
住吉内丸

料理方門

枡橋

11 亦日 杉村元碩 来旦 明石宗俊

洗子花 中村徳布

料理系日 花川九郎

11 亦日 多中又彦 長谷川徳八 田村つ次

二連本方乃

料理日 日

11 亦日 眼科吉之原 堤三孔

11 亦日 花柳

津野也 少長 石川吉也

高の海七郎

11 亦日 花柳

二月 近藤信之 数徳 寺 富田水舟

白田養春 大及 比留

11 亦日 花柳

11 亦日 山口至言 日 植 大川 三 宗 步

行 黄 利 大 方

11 亦日 花柳

11 亦日 千代南 桑松 盛 佐 大 坂 屋 吉 清

訂安利右

料理多口

むすまゝ

二月六日

中山通番院より松本番院  
下村宗十右

向野

汁

飯

平

松本

焼

ついでに

吸

押

元有

松本

松本

日九日

抄本より白友八松村松本に  
抄本玄巻

料理多口

むすまゝ

日十日

佐之向安部院完戸藤原宮内元女  
女中

料理多口

むすまゝ

日十八日

教院寺宗生寺教世見寺  
佐本友阿

向野

汁

飯

平

松本

草管 さいとうすつげ

吸也

つね

元音 はるま

むゆ

口下

阿部望忘君石見藤中流長水  
堀内長右衛門

向 ありとあり

むゆ

口下

宮内少輔藤原長右衛門  
口下

平 耳朝切  
白くを

花梅

口下

向 耳朝切  
白くを

花梅

三法久中尺集人中川清宗  
平西大元  
焼也

口下

永井右京殿 出雲守  
藤原長右衛門

料 白

花梅

口下

大梨年八 杉年之才 篤徳  
竹中彦八 隈寛

四 テ 鱧  
あろしええ

平 車 鯛  
白しと

吸 為 樽  
しと

二 介 口 一 毛 椿

三月六日 〇 柳

三 言 功 多 津 地 宗 信

け テ 大 免

平 塔 とり 寺  
ヤミふ 木のめ

二 介 口 一 日 一

日 七 日

岡 林 多 石 川 玄 碩 孫 田 尾 徳  
本 河 孫 光 徳 若 崎 宗 子

口 一 一 毛 柳 椿

日 十 日

永 山 孫 法 多 留 永 有 寺 猪 口 安 寺 尾  
津 め 也 寺 宗 子

お ろ 口 一 花 柳 口 一 寺

一 日 十 日

市 浦 帆 第 口 籠 口 柳 長 徳 寺 尾 寺  
石 塚 宗 子 也

口 十 日 一 一 花 柳

市 浦 元 寺 孫 定 三 法 志 目 後 梵 寺  
寺 原 寺 尾 比 内 安 寺 尾

平 せん 塔 三  
口 十 日 一 一 寺 目

後 山 宗 子 寺 尾

二月五日

湯前知亦古學氣長傳與

平 龜  
本目

橋也 柳 花梅

二月五日

若井貞三西清氣吉田孫八

平 龜  
本目

苑 葵 世 以

二月五日

寒 松 度

是 之 月 日 道 具 也 以 記 念

白 やしろくす  
あまのたに

汁 あじろ  
下大元

飯

老 白 山 水

共 日

唐 抄 丸 壺

茶 抄 珠 光 芸 符

盆 点

多 指 朱 弟 妻

二月五日

松 浦 坊 後 守 殿

奥 方

持 出 也

醫 師 院

道 具 口 一

苑 枝 丹

四 添すく 汁じゆ 飯いひ 茶ちや

燒やき 朝あさ 夜よ 茶ちや 菓子かし

吸すく 物もの

四月二日 大慈院 妙吉祥院 平等院

系珠院 二連木方石

向むかひ 汁じゆ 茶ちや 菓子かし

菓くわ 物もの 茶ちや 菓子かし

四月三日 三信寺 仲夜文仲 茶菓子

向むかひ 汁じゆ 茶ちや 菓子かし

茶ちや 菓子かし 菓子かし 菓子かし

吸すく 水みづ 菓子かし 菓子かし 菓子かし

四十一

紅糸活書印紅糸活書印紅糸活書印

白糸

計

計

平

三目

作

白糸

白糸

白糸

石者

大細

石者

十六日

中井新吾 中井新吾

白

白

計

計

平

白

白

白

十七日

多聖書乃中麻古乃河車之為

多聖書乃

白

計

平

白

作

白

白

白

十八日

廣康乃乃吉村世前 門野乃

栗中平乃乃



向 鮎あせ あせ 汁右門 平へい あせ

あせ 汁右門 あせ 別府資備

月赤口 荻井あし 別府資備

向 鮎あせ 汁あせ 平へい あせ

あせ 汁右門 あせ 別府資備

口在言 大田系珠菜 中川珠菜

向 鮎あせ 汁あせ 平へい あせ

在 去凡菜 あせ

口在昔 遠山ハニ後凡毛九ナ布

向 鮎あせ 汁あせ 平へい あせ

花新菜 あせ

口在六日 中山伝中守後出茶

近藤清彦 栗村野丸 文城新彦

道良口

香合獅子

杉板

杉板すげい

杉板すげい

け

大いんたいいん

ニ椀

もりのもりの

四

春はる

牛の子うしのこ

吸

結むす

石者いしもの

くま

遠山とほやま

四月しがつ

大衆たいしゆ

も川もがわ

料理りょうり

五月ごがつ

中村なかつむら

法利ほふり

王おう

向むかひ

け

大いんたいいん

平へい

あやあや

物もの

吸すく

茶ちや

八日やっぴつ

平へい

向むかひ

け

平へい

境さかい

物もの

茶ちや

境さかい

向むかひ

九日ここのち

青あお

茶ちや

大徳寺様 大徳寺 奥様

非是様 水雲様

道真と云ふ因に 見交りし

と云ふ一語をいへ 明如様白

二連寺方及 佐木元英 道真様

五月五日 二連寺方及 佐木元英 道真様

忠実

道真と云ふ一語をいへ 明如様白

六月 尾林と云ふ因に 見交りし

五月 尾林と云ふ因に 見交りし

八月 尾林と云ふ因に 見交りし

道真と云ふ因に 見交りし

五月 尾林と云ふ因に 見交りし

向 尾林と云ふ因に 見交りし

同古首唐物 珍木文様 破源六 露見家八

佐友宗兵衛

唐物文琳 瓦玉

向此に之 付文行一 平

めくく

神  
つ  
し  
き  
し  
し

吸也 龍玉

口内

龍玉 美如母 念知方

右筆了伴 福井玄清

白 四門不 ありし

付 龍玉 平 包玉

やまゆふー 吸物 和 有 鱈玉

龍玉

同 古 青 半井 大和守 板

花口ー 乃 進 美 あり

同 古 上 月 中 康 宗 本 富 吉 宗

向 此 に 之 付 昭 々 平 包 玉

くまー 龍玉

しん あり

五月廿九日

中山宗宗 岩村嘉次 津尾嘉次  
濱田長平

苑麦々々 介々々々

六月二日

藤掛宗宗 中白玄介 吉田耕平  
野村宗宗

何々々々

十七日

十八日

堀七郎 岩村嘉次 津尾嘉次  
向平 平 中白玄介 吉田耕平  
何々々々 何々々々

苑々々

後月廿日 名義

宗宗 岩村嘉次 津尾嘉次  
全知 宗宗 岩村嘉次  
山々々々

一 撰也 一山 一水也

一 寺

一 寺合 口ククニメイ

一 水橋

一 花入

宗旦作 祐力 田布 苑々々々

一 茶入

一 坊主

茶伊 珠光玄旨

向 今一結

汁 すしき

平 包み

焼 わあ

丸 者

く く

八月十七

川と宗付 出

片園 平八

向 と

汁 あ

平 丸

く く

花 萩

口 た

川と不美次 丸

ま く

料理 あ

九月

信 新

内 口

宗 益

送 り

向 大

汁

唐 あ

平

小 丸

やまお鮎ゆ葵 吸ゆ松の 此者 之様

くらーりのこしら

九月六日 此の孤の根川と宗吉川と習ふ

川上宗吉 仲宗吉

白鮎 ちしう け ヤミと敵 年 鮎切と

焼 ちしう 吸 ちしう 小

此者 ゆを くらー 友子色

多てのは 納豆く 毛物

加貝 糸豊 種よ不幾ゆの米の秋 孤の

香の漢より出舟入る子 不白

お猪の音より日和をの後ろに宗吉

門十 吉村安市市門郎子等乃伯

白 ちしう 汁 スレン 年 小

やま物 ちしう 吸 ちしう くらー 友子色

をのま

九月十日

中津赤三和 新西寺二連寺方乃

若原カ下 大口宗下

向寺向三 付スル 平 付外 後也 録

寺外 寺外

寺外 寺外

十月九日

付の宗系 口直 寺高 寺

向寺 録

付口 寺

寺外

寺外 録

寺外 寺外

同日

寺外 寺外

寺外 寺外

十月

寺外 寺外

寺外 録

付 寺外

寺外 寺外

引 寺外

寺外

寺外

寺外 寺外



九月廿六日

川上宗付台控為過年之節

親さんご

うせし口

口廿七日

相好やぶる中身新右の口新十日

のこや伊之節

うきあお

口廿八日

水之段宗永留者たる薩系七系

天野道順

と飛橋うきしり

口廿九日

行費利系少中佛元うあ申之系

堀津者たるうき々々

白妙蓮寺

白乳にうきうき

十月

高合は節高之系未留也急之

白とくにせんかん

と格格角介とう

口

桑松登依介代浦美也ひ

白さりり

けいし系冠くしにたつきり奴 院地多心

卯也 玉子白 くらー十年報

たまご白 新用

十月七

浦和泉吉根之割比考根  
粉皮或戸根 或皮是とも根

白 白 汁 西丸 平 角

膳 膳 卯 玉子 菓子 菓子

花 花 びい

十月八 大徳寺之願留 善僧

大徳

撰子 中鼓 汁 汁

平鏡 平鏡 卯 卯

丸者 丸者 糰 糰

くらー くらー 正定

十月二十日

細井藤太郎 川上吉太郎

花格のりきく 千代子とて

十月十四日

少家結太郎 菊子とて

と暮るく 千代子とて

十月十二日

永田藤太郎 柳子とて

花格のりきく 千代子とて

十月十日

川上吉太郎 和吉とて

少家結太郎

花格のりきく

平 千代子とて

十月八日

廣瀬了及中村貴太郎 二階半とて

中村玄忠 材前

千代子とて

十月九日

中谷玄馬 中谷半とて 佐合とて

花格のりきく

はる又とて

花格のりきく

はる又とて

十月十日

中谷玄馬 中谷半とて 佐合とて

花水

卯口

小西信三郎竹中屋敷落 卯口

玉楮 卯口

卯口 果木宗意中向定指書由春秋

玉之巻 卯口

源助 地部卯紀 珍木文部 卯口

卯口

玉楮 卯口

卯口 尾塚宗也 卯口 珍木

卯口 今村石三郎 卯口

卯口

卯口 小林自順

卯口

卯口

卯口 宗思 杉山養七

卯口

卯口 宗思 杉山養七

燒物 燒水

茂林橋

...

年々茶人故多少姓及押合ておひし一陽  
来少く、年節外れ少き一とせしむる事

宝舟

同五首 別墅補

少老永痛相言息男自嘆

花柳橋 卯口

...

少老候

同六首

石谷望眼如野後後神谷忠右馬

花柳橋

燒物卯口

同七首

村田去聲之字橋直有流橋糸糸

石橋常右馬

花柳卯口

燒物

...

同十首

竹橋

...

...

...

...

同十四首

増田冬信

野村徳太郎

向...

...

...

...

六月十六日

小泉珍木宗逸

田橋香崖

中村宗利

香梅

介与白

日十八日

大川牛翁

一与

玉ら梅

介白

日十九日

石塚宗通 訃告 増見宅

寺中友治 法利寺

向 介白

香梅 介白

少翁と介白 香梅

同日

伊良玄善 吉田春山 本宗良

徳山玄善

向 介白

焼物多

香梅

もろ梅 椿

焼物多

介白

日二十日

宮古玄善 富士山 寺員河原

向 介白

香梅 介白

介白

三月十日

糸湯温泉の湯田半七 珍事七名

やまゆきをり船

くまのり 花のり

山口

栗川名法部口和之由津村七名

やまゆきをり船

三月十日

川村名法部口和之由津村七名

後述村名

白

くまのり 花のり

三月十日

三井新蔵近老良安二井善也

白

焼ゆき 吸ゆき

くまのり 花のり

山口

物七名を記す

館名法部 昭徳宗中

茶登飾

吸ゆき

くまのり 花のり

三月五日

中民惣事同集人之後之也  
中川清宗 吉川義宗

申之下

依見存

色口——料理口——

茶登飾仕組茶等凡

同六日

之次長等小清祥義和四七等  
田加丸等 之里本底之節

系 毛 漢

今

二色

カマシ

之口——

花印紙



文化二五年三月六日  
終凡百餘卷也

右者蓮花寺唐自筆一筆寫至也

存之後亦執心沙門也  
知者教二午限言先言  
亦區仰云云也

角聖庵  